

【行動指標について】

- ・実施計画に掲載している主な行動指標については、調査が未実施なものを除きおおむね上昇で推移した。
- ・実施計画最終年度である令和7年度において達成指標を達成するために、引き続き関係機関と連携を図りながら施策を推進していく。

【達成指標について】

- ・「すべての奈良っ子の健やかな成長」においては、iの項目では、全国平均との差が▲1.4%→▲0.4%と縮まり、iiiの項目では、0.1%全国平均を上回った。ivの項目においては、全国平均以上を維持した。
- 一方で、「社会全体での奈良っ子のはぐくみ」では、策定時の値より低下する結果となったが、「子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っていること」については令和5年度より0.13点改善した。
- ・奈良っ子の健やかな成長や、社会全体での奈良っ子のはぐくみの効果は、実質的な成果が上がるまでに時間を要するなど定量的な評価が難しい側面がある。そのため、今回の結果を真摯に受け止め、関連施策のより積極的な推進を図りつつ、今後の指標の動向についても注視していく。

■奈良っ子はぐくみアクションプランに掲載している行動指標と達成指標一覧

達成したい目標	主な行動指標 (目標達成のために取り組む施策の進捗を測る指標)	策定当初値		R5確認時		現況値(最新値)			目標値 (R7年度)	備考	達成指標 (「達成したい目標」の達成度を測る指標)	
		(a)	時点	実績(b)	時点	実績(c)	時点	差異(c-b)			現状※	
すべての奈良っ子の健やかな成長	①「学ぶ力」「生きる力」の3つの土台のはぐくみ										○全国学力・学習状況調査(小学校児童)の以下の項目において、全国平均以上に高める。 i 自分にはよいところがある 令和4年度 全国:79.3% 奈良:77.9% ii 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている 令和4年度 全国:87.2% 奈良:85.4% iii 人が困っているときは、進んで助けている 令和4年度 全国:88.9% 奈良:88.6% iv 人の役に立つ人間になりたい 令和4年度 全国:95.1% 奈良:95.7%※ ※「人の役に立つ人間になりたい」については、全国平均以上を維持	
	保育所等における奈良県版就学前教育プログラム「はばたけなら」活用率を80%にする。	52.3%	R3年度	55.1%	R4年度	67.6%	R5年度	↑ 12.5%	80%	令和6年度 全国:84.1% 奈良:83.7% (+4.8) (+5.8)		
	「奈良っ子はぐくみ自然保育認証制度」の認証団体数を50にする。	-	-	12団体	R5.12	17団体	R6.12	↑ 5	50団体	令和6年度 調査項目なし		
経済的困難等の状況に置かれている子育て家庭が、地域で孤立することなく子どもの「伸びていく力」がはぐくまれている状態の実現	「幼児向けアートプログラム」を実践する保育所等を30にする。	-	-	-	-	8施設	-	-	30施設	令和5年度はプログラム作成のため実績値なし		
	②子どもの「伸びていく力」をはぐくむ親への支援											
ひとり親世帯(母子家庭)の保護者の就業率を95%にする。	ひとり親の就業率を高めるため、就業支援バンクの登録者数を400人に増やす。	91.4%	R1年度	-	-	-	-	-	95%	次回調査はR7年	令和6年度 全国:92.7% 奈良:92.8% (+3.8) (+4.2)	
	ひとり親の就業率を高めるため、就業支援バンクの登録者数を400人に増やす。	315人	R2年度	355人	R4年度	367人	R5年度	↑ 12	400人		令和6年度 全国:95.9% 奈良:96.0% (+0.8) (+0.3)	
社会全体での奈良っ子のはぐくみ	①すべての子育て家庭を支える機能の強化											
すべての子育て家庭が幸せな子育てをすることができる社会の実現	市町村子ども家庭総合支援拠点の設置率を100%にする。	92.3%	R4.11	97.4%	R5.3	97.4%	R5.3	⇒ 0.0%	100%		○県民アンケートにおいて、「地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりをおこなっていること」の平均点数3.3点に高める。	
	②地域における多様な子どものはぐくみ活動の充実										令和3年度 3.09点	
・社会全体で子どもをはぐくむ地域社会の実現 ・子育て家庭が抱える様々な悩みや困りごとに対応できるよう、市町村の包括的な相談・支援体制が整備された状態の実現 ・すべての子どもが、家庭での養育が困難な状況に直面しても、家庭と地域の力により、健やかに育まれる社会の実現	小学校区におけるこども食堂設置率を100%にする。	39.7%	R4.7	49.5%	R5.12	54.0%	R6.12	↑ 4.5%	100%		令和6年度 調査項目なし なお、令和5年度 3.00点	
	③子どもにとって、一番ふさわしい選択ができる養育環境の実現										○県民アンケートにおいて、「子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っていること」の育児期の県民満足度を3.25点以上とする。	
児童虐待や体罰等のない社会の実現	里親登録者数を150組以上とする。	149組	R3年度	175組	R5.12	183組	R6.12	↑ 8	150組以上	奈良市を含む(現況値:37組)	令和4年度 3.24点	
	④虐待の未然防止、発生時の早期対応										令和6年度 3.18点(▲0.06点) なお、令和5年度 3.05点より0.13点改善	
	乳児健診未受診児(3~5ヶ月児)の現認率を100%にする。	91.3%	R3年度	97.3%	R4年度	81.6%	R5年度	↓ 15.7%	100%			
⑤児童虐待予防に対する県民意識の定着												
	オレンジボンキャンペーンを県内全ての市町村が毎年継続して実施する。	全ての市町村	R3年	全ての市町村	R4年	全ての市町村	R5年	⇒	全ての市町村が毎年継続して実施			

※()内の数値は計画策定時の達成指標の値との差異